

# あおもり県議会だより

## 令和元年 9月 第299回 定例会

### 9月定例会の概要



最終日における議案の採決の様子

## 令和元年度 一般会計補正予算案などを可決

令和元年9月第299回定例会は、9月18日に開会され、10月7日までの20日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、「令和元年度青森県一般会計補正予算(第1号)案」をはじめ、18件の議案及び34件の報告が上程され、三村知事から提案理由説明がありました。

また、平成30年度決算について、会計管理者等から説明が、決算及び基金の審査結果及び意見について、監査委員から報告がありました。

9月25日から4日間にわたり一般質問が行われ、「生活創造社会」の実現に向けた取組、短命県返上の取組、ひきこもり対策などについて、16名の議員が登壇して質問し、県当局からそれぞれ答弁がありました。

10月2日には、議案に関する質疑が行われ、青森県一般会計補正予算案に計上された費目の事業内容等について、質疑・答弁がありました。

今回提出された議案のうち、平成30年度決算については決算特別委員会に、人事案件を除く議案10件は各常任委員会に付託されました。

最終日の10月7日は、各常任委員会の審査内容の報告、討論が行われたのち採決が行われ、決算特別委員会に付託され閉会中の継続審査となった議案5件を除く、知事提出議案13件が可決・同意されました。

### 目次

- 9月定例会の概要 ..... P01
- 一般質問の内容 ..... P02
- 常任委員会の活動内容 ..... P10
- 議会トピックス 他 ..... P12

### 「県議会インターネット中継」の機能が 増え、より便利になりました。

新機能① Windows・MacOSのパソコンに加え、Android・iOSのスマートフォンやタブレットでも視聴できるようになりました。

新機能② 生中継時に、さかのぼり追っかけ再生(約4分)ができるようになりました。

県議会本会議と特別委員会の模様はインターネットでライブ配信しています。過去の議会映像もご覧いただけます。詳しくは「青森県議会インターネット中継」で検索してください。





みつ はし かず み  
**三橋 一三 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：つがる市

**問**

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組

国内外を問わず、縄文遺跡群の内容と価値を一層理解してもらうため、今後どのような取組むのか伺う。

**答**

三村知事

1万年以上も自然と共生し、平和な社会を築いた先人の知恵と心を今に伝える縄文遺跡群の価値を多くの人々に理解してもらうため、来訪促進、環境づくり、人づくりに取り組むとともに、世界遺産にふさわしい名称の検討も進めている。2021年度の登録実現に向けて、関係自治体とともにしっかりと取り組んでいく。

用語解説



**農業経営収入保険**

本年から始まった農業経営の新しいセーフティネットで、自然災害に加え、価格低下など農業者の経営努力では避けられない原因による農業収入の減少を補償する保険制度。

**問**

農業経営収入保険

農業経営収入保険の加入状況と加入拡大に向けた県の取組について伺う。

**答**

農林水産部長

県は、相談窓口の設置や研修会等により農業経営収入保険の制度周知を図ってきたが、初年目となる本年の加入は約1,600経営体で、加入要件である青色申告の実施者の15パーセント程度であった。このため、今年度は、現地の講習会等の場を活用して農業者に本制度のメリットをPRするとともに、個別相談にもきめ細かく対応し、県農業共済組合が掲げる加入目標25パーセントの達成に向けて取り組んでいる。

**問**

りんご産地における労働力不足への対応

りんご産地の労働力が不足している中、産地を堅持するため、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

**答**

三村知事

県りんご協会等と連携し、りんご園地の円滑な継承に向け、園地の出し手情報を把握し、農地中間管理事業の活用につなげるモデル実証に取り組むほか、若手生産者の育成支援、援農希望者と生産者とのマッチング活動の拡大、作業の効率化を図られるわい化栽培や加工りんご専用園への転換等を進め、持続可能な産地形成に努めていく。



つる が や たかし  
**鶴賀谷 貴 議員**  
会 派：民主連合  
選挙区：弘前市

**問**

健康寿命・平均寿命の延伸

健康寿命・平均寿命の延伸に向けた県の健康づくりの取組について伺う。

**答**

三村知事

本県では、働き盛り世代の糖尿病や脳血管疾患、心疾患等の死亡率が高いため、県民一人ひとりが自らの生活習慣と向き合い、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組むとともに、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する健康経営に取り組み企業を支援する「青森県健康経営認定制度」を一層普及させていく。



青森県健康経営事業所認定証交付式の様子



やま もと とも や  
**山本 知也 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：むつ市

**問**

**原子力・核燃料サイクル政策  
と立地地域の地域振興策**

国の原子力・核燃料サイクル政策や立地地域の実情を踏まえた地域振興策に対する県の見解を伺う。

**答**

**エネルギー総合対策局長**

県内原子力施設については、安全確保を第一義に地域振興に寄与する観点から、立地に協力してきたところである。

県としては、国策である原子力政策の推進のためには、立地地域との協力関係、信頼関係が前提であると考えており、引き続き、立地地域の実情に即した地域振興対策が実施されるよう、機会を捉えて国・事業者に求めていきたいと考えている。

**問**

**下北半島縦貫道路の整備促進**

下北半島縦貫道路の整備促進のためには、地域との連携が重要と考えるが、県の認識について伺う。

**答**

**三村知事**

下北半島縦貫道路の整備促進のためには、機運醸成を含めて地域との連携が不可欠と考える。特に、下北未来塾の主催で毎年開催されるシンポジウムは、次世代を担う高校生も参加して、早期完成を訴えるなど、地域の機運醸成に大きく貢献している。

また、下北未来塾は、全国みちづくり女性ネットの世話人となり、全国会議の運営や国土交通省道路局長への要望活動を行うなど、予算確保に貢献していると感じている。引き続き地域と連携し、全線完成に向けて取り組んでいく。



下北未来塾  
シンポジウムの様子



はな だ えい すけ  
**花田 栄介 議員**  
会 派：自由民主党  
選挙区：青森市

**問**

**仕事と子育ての両立**

仕事と子育てを両立するためには、働きやすい環境づくりが必要と考えるが、県はどのように取り組んでいるのか伺う。

**答**

**健康福祉部長**

県では、平成29年度から、ワーク・ライフ・バランスなどに積極的に取り組む企業を「おおもり働き方改革推進企業」として認証支援しており、現在、認証企業は106社となっている。

県では、今年度、働き方改革の意義等をPRするためのテレビCM等の放映や、認証取得までの好事例を情報発信することで、県内企業の働き方改革を更に促進し、子育てしやすい環境づくりを推進していきたい。

**問**

**働き盛り世代の健康づくりの推進**

がん検診等の受診率向上をはじめとした取組が重要と考えるが、県はどのように取り組んでいるのか伺う。

**答**

**健康福祉部長**

平成30年3月に第三期青森県がん対策推進計画を策定し、がん予防・がん検診の充実に取り組んでいる。

特に、がん死亡率が高い働き盛り世代へのがん検診の普及啓発と受診勧奨の強化のため、**大腸がん検診モデル事業**や女性のためのがん対策事業を実施している。さらに、市町村の取組を支援するため、研修会の開催やがん検診の受診率等を国民健康保険の特別交付金の算定時の評価項目としている。

**用語解説**



**大腸がん検診モデル事業**

青森市及び弘前市をモデル地域として、50歳代で大腸がん検診を過去5年間受診していない者を対象に簡便に検査が受けられる仕組みの構築と効果的な受診勧奨を実証するとともに、未受診リスクを検証する事業。事業期間は、平成29年度から3年間。



よしだ きぬえ  
**吉田 絹恵 議員**  
会 派：公明・健政会  
選挙区：上北郡

**問**

**プラスチックごみ対策**

レジ袋の有料化促進など、プラスチックごみの発生抑制及び資源化に向けたこれまでの県の取組について伺う。

**答**

**環境生活部長**

プラスチックも含まれたごみの発生抑制やリサイクルなど3Rを推進するため、「もったいない・あおもり県民運動」を展開し、シンボリックな取組として平成20年度からレジ袋の有料化を促進している。このほか、イベント等における啓発活動、市町村の分別収集強化等の取組、プラスチックごみ対策等をテーマとする事業者向けセミナーの開催などに取り組んでいる。

**用語解説**



**LVL工場**

LVLは、Laminated Veneer Lumber(単板積層材)の略。薄い板を重ね、接着して製造される加工木材で、用途は住宅等の建築材料。県では、国内最大規模の工場を六戸町の金矢工業団地に誘致。工場は、平成27年度から稼働しているほか、新たに整備した工場が、今年度から稼働。

**問**

**森林資源の循環利用**

県は、LVL工場への木材の安定供給に向けて、どのように取り組んでいるのか伺う。

**答**

**農林水産部長**

県では、LVL工場へ木材が安定的に供給されるよう、木材の伐採や運搬に必要な森林内の道路整備や、高性能林業機械の導入支援を実施している。また、近接する複数の林地の伐採作業等の集約化を図ることにより、高性能林業機械の作業効率を向上させるとともに、木材生産を担う林業労働力の確保・育成対策の推進などに取り組んでいる。



まつた まさる  
**松田 勝 議員**  
会 派：日本共産党  
選挙区：八戸市

**問**

**本県の地球温暖化対策**

国の長期戦略の策定を受けて、改めて本県の地球温暖化対策における基本的な考え方について伺う。

**答**

**三村知事**

青森県地球温暖化対策推進計画で設定した温室効果ガス削減目標達成に向け、昨年4月、もったいない・あおもり県民運動推進会議において、県民総参加による地球温暖化対策の取組強化の姿勢を明らかにするため、「COOL CHOICEあおもり宣言」を採択した。引き続き、「COOL CHOICEあおもり」を合言葉に、地球温暖化対策の推進に積極的に取り組んでいく。

**問**

**森林経営管理制度**

県は、森林経営管理制度を担う市町村をどのように支援していくのか伺う。

**答**

**農林水産部長**

4月にスタートした森林経営管理制度では、市町村が主体となって森林の経営管理を行うとされているが、林業に精通した職員が少ないなど、体制が十分ではない市町村が多いため、県では、森林・林業に関する専門的な知識を有する推進員を新たに設置し、県の林業普及指導員と連携しながら、市町村に対して指導・助言を行い、制度が円滑に運用されるよう努めていく。

**用語解説**



**森林経営管理制度**

森林所有者が自ら経営や管理を行えない森林を市町村が預かって、林業経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者へ仲介し、適さない森林は市町村が直接管理する新しい制度。



さいとう なおひと 議員

会派：自由民主党  
選挙区：北津軽郡

問

子どもの貧困対策の推進

県が昨年度実施した青森県子どもの生活実態調査におけるひとり親世帯の生活困窮の状況について伺う。

答

健康福祉部長

県では、子どもの貧困の実態を多面的に把握するため、「青森県子どもの生活実態調査」を実施した。調査の結果、ひとり親世帯の割合は、一般家庭では10%以下であるのに対し、困窮家庭では約30%と高い割合であることから、引き続きひとり親世帯に対する就労の支援や経済的支援等に取り組んでいく。

問

プラスチックごみ対策  
先進県に向けた取組

プラスチックごみ対策の先進県となるよう県として積極的に取り組むべきと考えるが、県の取組方針について伺う。

答

三村知事

海洋プラスチックごみ問題等を背景に今年5月に国の「プラスチック資源循環戦略」が策定された。持続可能な循環型社会を構築していくためには、プラスチックごみも含めた3Rの推進が重要であり、国の戦略を踏まえ、県民や事業者、市町村など多様な主体との連携・協働のもと、プラスチックごみ等の発生抑制や回収・資源化の推進に積極的に取り組んでいく。

用語解説



海洋プラスチックごみ

世界全体で年間数百万トンを超えるプラスチックごみが海洋に流出していると推計されている。地球規模での環境汚染による生態系等への悪影響が懸念され、本年6月のG20大阪サミットでも主要議題の一つとされた。



やまぐち たきじ 議員

会派：自由民主党  
選挙区：平川市

問

短命県返上の取組

生活習慣病を予防するため無理なく減塩できる仕組みが必要と考えるが、県の取組について伺う。

答

健康福祉部長

「青森のおいしい健康応援店認定事業」や「だし活」などの取組とともに、無理なく減塩を推進するメニューを創出するため、啓発媒体の作成や研修会の開催により、栄養成分表示を活用した減塩食品の利用促進を図るほか、事業者向け食品表示研修会において、栄養成分表示の周知徹底と減塩食品開発に向けた啓発を行っている。

問

りんご病害虫の発生防止  
に向けた共同防除組織の強化

りんご病害虫の発生防止に向けた共同防除組織の強化について県の取組を伺う。

答

農林水産部長

県りんご共同防除連絡協議会と連携して、組織の再編・強化に取り組み、最近では、黒石市など4地区で組織が広域化したほか、国の事業等を活用して、スピードスプレーヤーが平成28年度から29年度までの2年間に51組織で98台導入された。

また、効果的な防除に向けて、防除技術事例集の配布、現地実演会などにより、防除技術の向上を図っている。



スピードスプレーヤーによる防除作業の様子



おお さき みつ あき  
**大崎 光明 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：八戸市

**問**

**県内就職の促進**

経済を回すためには、若者の県内企業への理解を促進し、県内での人材確保を図ることが重要と考えるが、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

**答**

**三村知事**

県では、高校生とその保護者を対象とした就労意識形成セミナーの開催や県内企業が自社の魅力をPRする機会を設け、地元への理解を浸透させる取組を行っている。また、企業説明会や企業見学会など企業と学生が対話できる機会を設けるほか、インターンシップのマッチング促進を図るために総合窓口を設置している。さらに、大学との連携を強力なものとするため、大学自ら先頭に立ち、協定締結、大学への訪問活動を進めている。

**問**

**小学校プログラミング教育**

？**小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けた、県教育委員会の取組について伺う。**

**答**

**教育長**

県教育委員会では、小学校プログラミング教育の普及啓発のため、今年度から、県内6地区における研修会の実施や指導内容等のホームページへの掲載、リーフレットの作成配布等を行うこととしている。

また、市町村教育委員会に対して、指導方法等の情報に加え、プログラミング教育の充実を図る上で有効な企業・団体等との連携について情報提供していく。

**用語解説**



**小学校プログラミング教育**

児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習。例えば、正多角形の作図で、辺の長さや角の大きさなどに着目しプログラミングにより作図する学習等がある。

**問**

**防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン**

防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインの策定により期待される効果について伺う。

**答**

**環境生活部長**

防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインの策定により、プライバシーの保護や画像データの漏えい防止など、防犯カメラの設置者が守るべき基本的なルールが広く周知され、防犯カメラの適正な設置・運用が図られるとともに、防犯カメラの設置箇所の増加が期待される。



いち のへ ふ み お  
**一戸 富美雄 議員**

会 派：青和会  
選挙区：青森市

**問**

**インターネット上のいじめ対応**

インターネット上のいじめに対応するため、県教育委員会ではどのような取組をしているのか伺う。

**答**

**教育長**

県教育委員会では、24時間対応の相談電話のほか、ホームページに相談窓口を設置し、相談しやすい環境の整備に努めている。

また、ソーシャルメディア等監視員を配置してネットパトロールを行っているほか、今年度から新たに、ネットいじめ防止を主な目的とするリーフレットを作成し、学校や家庭における指導及び啓発に活用できるよう、県内全ての学校に配布している。



学校に配布した  
ネットいじめ防止リーフレット(小学生用)



鹿内 博 議員

会派：県民民主役の県政の会  
選挙区：青森市

問

子どもの医療費の無償化

県が主体となって高校生までの無償化を進めるべきと考えるが、県の見解と対応について伺う。

答

健康福祉部長

子どもの医療費の助成は全ての市町村で実施され、その内容は市町村により異なっている。子どもの医療費の無償化は、自治体により受けるサービス内容に格差が生じることがないよう、全国一律の安定した制度として国が行うべき重要な少子化対策であると考ええる。これまでも国への重点施策提案のほか、全国知事会などにおいて国に要望してきたが、今後さまざまな機会を捉えて国に働きかけていく。

問

放射性廃棄物

本県を高レベル放射性廃棄物の処分場にしない担保として、搬出期限の2045年4月25日までのスケジュールの早期策定を国・事業者に求めるべきと考えるが、見解と対応を伺う。

答

エネルギー総合対策局長

高レベル放射性廃棄物は、あくまでも一時貯蔵を前提として施設の立地協力要請を受諾したものであり、安全協定上の取り決め、事業者の確約、国の指導が示されている。県は、最終処分地の早期選定に向け、国に取組の加速を要請してきたところであり、今後とも適切に対処していく。

用語解説



高レベル放射性廃棄物の一時貯蔵

六ヶ所村では、海外に委託した使用済燃料の再処理に伴い発生した高レベル放射性廃棄物を30年から50年間貯蔵・管理しており、その後は、電力会社が搬出することになっている。本県を最終処分地にしないとの国の確約がある。



齊藤 爾 議員

会派：自由民主党  
選挙区：弘前市

問

第80回国民スポーツ大会に向けた競技力向上

本県の競技力向上を推進するために競技団体との連携が必要と考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う。

答

教育長

本県の競技力向上させるための各種取組については、青森県競技力向上対策本部の事務局員が各競技団体を直接訪問し、事業実施に向けた意見交換や実施内容の検証等を行い、今後の事業構築に反映させるなど、競技団体がより効果的に事業を実施できるよう支援している。県教育委員会では、引き続き、競技団体等と連携を図りながら、本県の競技力向上に取り組んでいく。

問

青森りんごのタイへの輸出対策

タイ政府による選果こん包施設に対する規制について、県ではどのように対応しているのか伺う。

答

農林水産部長

りんごをタイに輸出する場合、本年8月25日以降、選果こん包する施設ごとに、タイが定めた青果物の衛生管理基準等に適合している旨の証明書が必要になったため、これまで、タイ向けJFS規格の取得に向けた研修会等を開催し、21施設事業者がこの規格を取得したほか、県が発行する証明書も活用できるので、交付できるよう準備を進めている。

用語解説



タイ向けJFS規格

一般財団法人食品安全マネジメント協会が、タイが定めた青果物の衛生管理基準を満たしていることを示す証明のひとつとして開発した規格。



なる み けい いち ろう 議員  
鳴海 恵一郎

会 派：自由民主党  
選挙区：黒石市

問

県主催のイベントにおける託児所の設置

県主催のイベントには託児所の設置を進めるべきと考えますが、県の考えについて伺う。

答

健康福祉部長

県としても、社会全体で子育てを支え合う観点から、県主催のイベントには、必要に応じて託児所を設置することが望ましいと考えており、今後、庁内各部署に対して、イベントを開催する際の託児所設置の検討について要請するとともに、託児所を設置する際の相談先を紹介するなど、県主催のイベントにおける託児所の設置を進め、子育て中の方が参加しやすくなるよう努めていく。

用語解説

スマートムーブ

移動により発生する二酸化炭素の排出量削減のため、「公共交通機関を積極的に利用する」「徒歩・自転車による移動を見直す」「エコドライブを実践する」など、場面や状況に応じて環境に優しい移動方法を選択する取組。

問

スマートムーブの推進

スマートムーブの推進が必要と考えるが、県の取組について伺う。

答

柏木副知事

自動車からの二酸化炭素排出量削減のため、エコで賢い移動である「スマートムーブ」の普及・推進に重点的に取り組むこととしており、スマートムーブ通勤月間や事業所向けの出張講座、新社会人を対象としたキャンペーンのほか、交通事業者等との連携による普及啓発活動などの取組を行っている。今後とも、各主体と連携しながら、スマートムーブの普及・推進に積極的に取り組んでいく。



ぶく し なお はる 議員  
福士 直治

会 派：無所属  
選挙区：東津軽郡

問

東青地域における道路整備

主要地方道今別蟹田線小国峠の道路整備について伺う。

答

県土整備部長

主要地方道今別蟹田線の小国峠区間は、散水消雪施設の更新工事を行い、年間を通して一定程度の通行の安全性が確保されているものと考えているが、引き続き、適切な維持管理により安全性の確保に努める。  
小国峠区間の抜本的な改良については、現道をショートカットした平坦なルートでの改良が必要となるが、長大トンネルや橋梁など莫大な費用を要する大規模構造物主体のバイパス整備となることから、現時点では難しいと考えている。

問

ホタテガイの養殖残さ

陸奥湾のホタテガイ養殖で問題となっている養殖残さについて、県はどのように対応しているのか伺う。

答

農林水産部長

県では、水産総合研究所と連携して、養殖籠を吊り下げた水深を調節することで残さとなる生物の付着量を減らす養殖管理技術を確立し、その普及を図っている。  
そのほか、国の補助事業を活用した籠洗浄機などの導入促進、養殖残さが多く発生する時期での適正処理指導、市町村が開催する検討会での指導・助言を行うなど、養殖残さの軽減や適正処理に努めている。

用語解説

ホタテガイの養殖残さ

主に、ホタテガイを収容する「パールネット」や「丸籠」と呼ばれるナイロン製の養殖籠に、海中を漂うホヤ類やムラサキガイなど小型生物の幼生(ラーパー)が付着・成長したものを。







たなか みつる  
**田中 満 議員**

会 派：民主連合  
選挙区：八戸市

**問**  
がん死亡率全国最下位からの脱却

がん死亡率全国最下位からの脱却に向けた知事の意気込みについて伺う。

**答**  
三村知事

県民が住み慣れた地域で健やかに安心して生活できる社会を実現するため、第三期青森県がん対策推進計画に基づきがん対策を実施している。

特に、がん死亡率が高い働き盛り世代ががん検診を受診しやすい環境の整備等に重点的に取り組んでおり、今後も、地域、家庭、職場など社会全体で一丸となって「健康・長生きで安心して暮らせる青森県」の実現をめざす。

**問**

ハンセン病患者・元患者への対応

?ハンセン病家族国家賠償請求訴訟について訴訟判決が確定したが、知事の所感を伺う。

**答**  
三村知事

国が控訴を断念し、安倍首相がハンセン病患者・元患者とその家族の方々へ反省と謝罪を表明したことは、大変意義深いものと考えている。旧らい予防法の隔離政策により、極めて厳しい偏見や差別が存在した歴史は、これからの時代を担う若い世代にしっかりと伝えていかなければならない。引き続き、患者・元患者とその家族の方々に寄り添った取組をより一層進めていく。

用語解説



ハンセン病

らい菌に感染することで起こる皮膚と末梢神経の病気。現在は治療法が確立され、早期発見・早期治療により後遺症を残すことなく治癒する。感染力は極めて弱く、現在の日本では、たとえ感染しても発病することはほぼない。



くどう のり やす  
**工藤 慎康 議員**

会 派：自由民主党  
選挙区：上北郡

**問**  
行政サービスの質の向上

窓口対応等の行政サービスの提供体制の質を向上させるためどのように取り組んでいくのか伺う。

**答**  
総務部長

行財政改革大綱では、業務に必要な技術を効果的・継続的に継承し円滑に業務を遂行できるようにマニュアルの整備・見直し等を推進することとしている。また、個々の職員の資質向上を図るため、公務員としての心構え等に関する研修や知識・技術向上のための職場内研修を行っている。これらの取組を各部署等において行い、より良い行政サービスを提供できるよう努めていく。

**問**

ものづくり技術の継承

県内産業の振興を図り、生活の基盤となる仕事づくりを進めて行くためには、優れたものづくり技術の継承が重要であると考えますが、県の認識について伺う。

**答**  
商工労働部長

ものづくり産業の維持・発展のためには、ものづくり技術の次世代への継承が重要と考えており、?あおもりマイスターによる技術・技能の継承などに取り組んでいる。また、優れた技術の消失は地域産業の衰退につながりかねないため、マニュアル等の技術の見える化など、ものづくり技術の次世代への継承の促進に努めていく。

用語解説



あおもりマイスター

県が認定した、後進の指導に意欲的でものづくりの基盤技術を支える優れた技能・技術者のこと。マイスター自身の技術力の向上と後進の指導等を通じて、技能・技術の継承・発展と人材の育成を図っている。

# 常任委員会の活動状況

## 総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、9月10日から12日にかけて、下北・北海道道南地区において調査を実施しました。

東通オフサイトセンターでは、同センターの位置づけと概要について説明を受け、施設内を視察しました。

電源開発株式会社大間原子力建設所では、大間原子力発電所の安全対策について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設内を視察しました。

大函丸では、津軽海峡フェリーの利用状況と今後の取組について説明を受け、船内を視察しました。

函館新幹線総合車両所では、北海道新幹線の基地の概要と車両のメンテナンスについて説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設内を視察しました。



東通オフサイトセンター内の視察

## 環境厚生委員会

環境厚生委員会は、9月9日から11日にかけて、上北・三八地区及び岩手県において調査を実施しました。

蕨沼展望デッキでは、国立公園満喫

プロジェクトの推進及び蕨温泉地区の利用施設魅力向上に向けた取組等について説明を受けるとともに、現地及び蕨野鳥の森ビジターセンターの視察をしました。

岩手県男女共同参画センターでは、岩手県における男女共同参画推進の取組及び関係機関等との連携について説明を受けるとともに、資料コーナー等を視察しました。

メイカルコート八戸西病院では、高次脳機能障害支援拠点機関としての取組等について説明を受けるとともに、院内を視察しました。

特別養護老人ホーム見心園では、青森県介護サービス事業所認証評価制度の認証を受けた事業所としての取組について説明を受けるとともに、園内を視察しました。



岩手県男女共同参画センターの視察

## 農林水産委員会

農林水産委員会は、9月11日から12日にかけて、上北・三八地区で調査を実施しました。

青森県営農大高校では、地域農業の担い手育成について意見交換を行った後、同校のビニールハウス等を視察しました。

株式会社サウザンドリーフでは、搾乳ロボットやコンポストバーン方式の牛舎等を視察しながら、質疑応答を行いました。

酒米ほ場(三戸町)では、三戸町における酒造好適米栽培の状況について説明を受けた後、ほ場を視察しました。

三戸町木の駅では、林地残材を地域内通貨で買い取ることで森林と地域経済を元気にする活動について説明を受けた後、敷地内を視察しました。



三戸町木の駅の視察

## 商工労働観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会は、9月9日から10日にかけて、三八・上北地区において調査を実施しました。

一般財団法人VISITはちのへでは、観光振興の取組について説明を受け、質疑応答を行った後、物産販売施設等を視察しました。

八戸市の株式会社マルヌシでは、地域資源を活用した商品開発について説明を受け、質疑応答を行った後、加工施設を視察しました。

六ヶ所村の二又風力開発株式会社二又風力発電所及びバイオスエンジニアリング&サービス株式会社六ヶ所村トレーニングセンターでは、風力発電の取組及び風力発電メンテナンス訓練の取組について説明を受けた後、風力発電施設及びメンテナンス訓練施設を視察しました。

一般社団法人十和田奥入瀬観光機構では、観光振興の取組について説明を受けた後、物産販売施設等を視察しました。



一般財団法人VISITはちのへにおける説明

## 文教公安委員会

文教公安委員会は、9月5日から6日にかけて、東青・下北地区の調査を実施しました。

三内丸山遺跡センターでは、センターの概要や遺跡の保存・活用の取組について説明を受け、意見交換をするとともに、

三内丸山遺跡及びセンターの増築部分を視察しました。

青森県警察学校では、警察活動の状況について説明を受け、意見交換をするとともに、学校内を視察しました。

むつ警察署では、警察活動の状況について説明を受け、意見交換をするとともに、署内を視察しました。

むつ市立関根小・中学校では、学校運営協議会の概要について説明を受け、意見交換をするとともに、昨年度完成した中学校の新校舎を視察しました。



三内丸山遺跡センターの視察

## 建設委員会

建設委員会は、9月9日から11日にかけて、上北・三八地区、岩手県において調査を実施しました。

上北地区では、一般国道45号天間林道路改良工事(七戸町)及び三沢十和田線橋梁架替工事(三沢市)の現地調査を行い、また、上北地域県民局において概況説明を受け、それぞれ質疑応答がありました。

三八地区では、八戸港内及び八戸市長根屋内スケート場(八戸市)の現地調査を行い、また、三八地域県民局において概況説明を受け、それぞれ質疑応答がありました。

岩手県では、三陸沿岸道路(野田久慈道路)普代久慈工区(久慈市)、震災復興事業公営住宅等整備(野田村)、築川ダム建設事業(盛岡市)及び道路環境改善事業橋梁耐震補強工事(盛岡市)の現地調査を行い、それぞれ質疑応答がありました。



三陸沿岸道路(野田久慈道路)普代久慈工区の現場を視察

# 決算特別委員会を開催し、平成30年度決算を認定

10月2日の本会議で、委員23名で構成する決算特別委員会が設置され、本会議後の組織会で委員長に蛭沢正勝議員（自由民主党）、副委員長に山口多喜二議員（自由民主党）が互選されました。

10月10日、11日及び15日の3日間、「決算の認定を求めるの件」を初め、付託された5議案について、11名の委員による活発な質疑が行われ、質疑後、付託された5議案はすべて可決、認定されました。主な質疑の内容は以下のとおりです。

質疑の様子



採決の様子

**問**

「青森県行財政改革大綱」において目指す将来にわたり持続可能な行財政基盤の確立のためには、中長期的な視点に立った財政運営と適正な予算執行が重要と考え、県の認識を伺う。

**答**

これまでの行財政改革努力により、令和元年度当初予算では3年連続で収支均衡を継続するとともに、平成30年度決算では県債残高の圧縮、実質公債費比率や将来負担比率の低下などの財政指標等の改善が図られた。

一方、歳入面では国の厳しい財政状況のもと、今後の地方財政対策や地方交付税の動向が見通せないことに加え、歳出面では社会保障関係費や公共施設等の老朽化対策などの増加が見込まれるため、将来にわたり安定的な財政運営を可能とするためには、県債残高の圧縮等による将来負担の軽減や財政調整用基金残高の確保に努めるなど中長期的視点に立った財政健全性の確保が重要であると考えます。

また、人口減少克服を初め県政の様々な重要課題に適切に対応しながらも、後年度の財政負担等へ備えるため、財政規律を堅持し、適正かつ効率的な予算執行による経費節減や歳入確保に引き続き取り組む。

## 第299回定例会で可決された知事提出議案(13件)

- ◆令和元年度補正予算関係(3件)／一般会計1件、特別会計1件、病院事業会計1件
- ◆条例関係(5件)
  - 青森県県税条例の一部を改正する条例案
  - 青森県県営土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例案
  - 青森県建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案
  - 青森県建築基準法施行条例の一部を改正する条例案
  - 青森県道路交通法関係手数料の徴収等に関する条例の一部を改正する条例案
- ◆人事関係(3件)
  - 青森県教育委員会委員の任命の件
  - 青森県公安委員会委員の任命の件
  - 青森県土地利用審査会委員の任命の件
- ◆その他の議案(2件)
  - 訴えの提起の件
  - あっせんの申立ての件



## 本会議場でクールビズが実施されました。

本会議場でのクールビズの実施について、議会改革検討委員会からの中間報告を受け、森内議長が各会派代表者会議に諮り、各会派の意見集約が図られたことから、令和元年9月第299回定例会から本会議場でのノーネクタイを可とし、9月30日まで実施しました。

県議会からのお知らせ

○あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて  
〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課 電話 017(734)9797(直通)